

平成23年12月 紙・板紙需給速報

問い合わせ先：紙・板紙部(03-3248-4803)

(単位：千トン、%)

		生産		出荷計		国内出荷		輸出		在庫	(参考)輸入*	
		前年比		前年比		前年比		前年比			前年比	
12月	紙・板紙計	2,239	98.3	2,208	94.5	2,166	96.5	43	46.6	1,847	220	146.2
	紙計	1,314	97.4	1,300	93.6	1,264	96.7	37	45.0	1,267	192	163.1
	新聞用紙	283	104.1	287	99.3	287	100.1	0	3.4	245	6	67.0
	印刷・情報用紙	751	95.1	714	90.1	685	95.1	29	40.6	772	183	172.6
	非塗工紙	204	105.8	184	96.2	178	98.6	6	56.9	275	24	342.8
	塗工紙	430	90.3	413	86.4	392	93.3	22	36.7	363	122	202.7
	情報用紙	117	96.7	117	95.4	116	95.9	1	65.4	134	36	93.5
	包装用紙	70	98.4	70	97.6	64	98.0	5	92.6	93	1	99.4
	衛生用紙	149	97.2	170	98.0	170	98.0	0	-	70	1	248.5
	板紙計	925	99.6	908	95.9	902	96.3	6	59.2	580	28	85.9
段ボール原紙	732	100.1	721	95.2	717	95.5	4	58.5	375	9	89.4	
白板紙	130	100.7	121	98.5	119	99.6	2	58.9	127	18	93.5	
(参考)累計	紙・板紙計	26,582	97.1	26,510	96.7	25,788	98.4	722	59.6	1,847	1,904	114.1
	紙計	15,428	94.1	15,403	93.6	14,779	96.3	624	56.3	1,267	1,573	121.1
	新聞用紙	3,210	95.9	3,191	95.0	3,180	96.1	11	21.6	245	115	90.9
	印刷・情報用紙	8,766	91.8	8,775	91.5	8,273	96.0	502	51.4	772	1,424	125.0
	非塗工紙	2,310	95.9	2,288	94.2	2,199	95.8	90	67.8	275	154	152.2
	塗工紙	5,039	89.0	5,061	89.1	4,679	96.2	382	46.8	363	831	130.1
	情報用紙	1,418	95.9	1,426	95.9	1,396	95.7	30	107.1	134	439	110.0
	包装用紙	903	99.9	897	98.9	816	97.0	80	123.5	93	11	89.4
	衛生用紙	1,779	99.3	1,777	99.2	1,777	99.2	0	-	70	6	133.0
	板紙計	11,154	101.6	11,107	101.2	11,008	101.3	99	95.9	580	330	89.5
段ボール原紙	8,797	101.7	8,759	101.3	8,689	101.2	70	108.3	375	101	80.2	
白板紙	1,548	102.0	1,536	101.1	1,508	101.8	28	74.4	127	218	95.6	

[概況12月]

- 紙・板紙の国内出荷は前年同月比3.5%減。うち、紙は3.3%減、ともに4ヶ月連続の減少。板紙は3.7%減、7月以来5ヶ月ぶりの減少。主要品種は新聞用紙を除き減少。
- 紙・板紙の輸出は前年同月比53.4%減、16ヶ月連続の減少。大震災以降は紙を中心に円高等もあり半減。
- 紙・板紙の在庫は前月比31千トン増。紙、板紙とも増加(紙14千トン増、板紙17千トン増)。震災等による減失はなし。

[主要品種]

- 新聞用紙の国内出荷は前年同月比0.1%増、ほぼ横ばいも広告出稿増等による頁数の増加により8月以来4ヶ月ぶりの増加。
- 印刷・情報用紙の国内出荷は前年同月比4.9%減、塗工紙を中心に輸入の大幅な増加等の影響もあって4ヶ月連続の減少。輸出は59.4%減、15ヶ月連続の減少。
- 衛生用紙の国内出荷は前年同月比2.0%減、大震災以降高まった製品輸入の増加等もあり、8ヶ月連続の減少。
- 包装用紙及び板紙の国内出荷は、包装用紙は前年同月比2.0%減、3ヶ月連続の減少。段ボール原紙は4.5%減、価格修正に伴う前倒し需要の反動等により7月以来5ヶ月ぶりの減少。白板紙は0.4%減、ほとんど横ばいも前月に続き減少。

(注) 1. 国内工場の生産高・出荷高・在庫高による。

2. 紙・板紙計には「その他の紙」、「白板紙以外の紙器用板紙」、「その他の板紙」が含まれる。

3. 輸入*は11月、1-11月

平成23年12月パルプ速報

問合わせ先：パルプ・古紙部(03-3248-4805)

(単位：千トン、%)

(11月)

品 種	生 産		自家用		販 売		在 庫		輸 入	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
N-BKP	97	88.6	81	95.2	16	63.9	38	90.4	78	106.9
L-BKP	494	96.6	456	97.1	41	72.8	71	69.8	34	67.4
B K P 計	591	95.2	537	96.8	56	70.1	109	75.9	112	90.9
U K P	89	101.7	63	99.2	21	83.5	29	121.0	3	86.9
機械パルプ	66	114.8	66	112.8	—	—			25	5,760.7
製紙パルプ計	749	97.3	668	98.3	78	73.4	144	83.5	144	106.7

1～12月累計

(1～11月)

N-BKP	1,218	94.3	984	92.7	233	98.3	—	—	838	105.1
L-BKP	6,014	96.0	5,381	96.6	653	98.1	—	—	527	101.9
B K P 計	7,233	95.7	6,364	95.9	886	98.2	—	—	1,365	103.9
U K P	1,041	98.5	779	98.9	257	92.2	—	—	29	113.7
機械パルプ	716	97.0	715	96.8	—	—	—	—	198	97.3
製紙パルプ計	9,021	96.0	7,882	96.2	1,151	96.6	144	83.5	1,664	103.2

※製紙パルプ計には、上記品種以外を含む。

12月の概況

- ・ 製紙パルプの生産は、前年比2.7%減となり、2ヶ月連続のマイナスとなった。品種別には、BKPは印刷情報用紙の生産が4.9%減となったことが響き、4.8%のマイナス。UKPは1.7%増となった。主たる用途である重袋用クラフト紙が8.7%減となり、また段ボール原紙の生産が0.1%増とほぼ横ばいであったこと等から、自家用では0.8%減となった。
- ・ 販売は、BKPでは国際市況の低迷から輸出が47.3%減と大きく落ち込んだことが響き、6ヶ月連続のマイナスとなった。UKPは、輸出と国内販売がともに前年比減となり、7ヶ月連続のマイナスとなった。その結果、製紙パルプ合計では6ヶ月連続の前年割れに、また1～12月累計でも前年同期を下回った。

平成23年12月度パルプ材速報

問合わせ先：林材部(03-3248-4806)

(単位：千トン、%)

材 種	消 費 量		集 荷 量						在 庫 量	
		前年比	計	前年比	国産材	前年比	輸入材	前年比		前年比
針葉樹	432	94.7	418	95.0	289	101.5	129	82.9	570	103.5
広葉樹	912	97.0	957	92.0	129	103.9	828	90.4	1,152	100.9
計	1,344	96.3	1,375	92.9	418	102.2	957	89.3	1,722	101.7

1～12月累計

針葉樹	5,191	95.7	5,203	96.1	3,389	98.9	1,814	91.3
広葉樹	11,090	95.9	11,153	98.6	1,423	93.0	9,730	99.5
計	16,281	95.8	16,356	97.8	4,812	97.1	11,544	98.1

12月の概況

- ・ 消費量は、パルプ生産の前年比マイナスを受けて、前年比3.7%減となり、3月以降(震災以降)9ヶ月連続のマイナスとなっている。樹種別では、針葉樹で11月、広葉樹で10月に前年比プラスとなったが、両者共にマイナス基調となっている。
- ・ 集荷量は、合計で前年比7.1%減と4ヶ月連続のマイナスとなった。マイナス幅は前月より拡大しているが、数量では前月より3.9万トン増加しており、前年同月の増加が影響した。輸入材は前年比10.7%減となっているが、3月以降の平均輸入量は上回っており極端に低い水準ではない。一方国産材は前年比2.2%増と4ヶ月ぶりのプラスであり、年内では2番目に高い集荷量となった。
- ・ 在庫量は、前年比1.7%増と8ヶ月連続のプラスとなったが増加幅は縮小傾向にある。一方、前月に対しては2ヶ月連続で増加となった。維持月数は1.2ヶ月で前月と同値。